

# フナテック新聞

## ものづくり補助金二次公募 またも「不採択！」 痛恨の「○○○○」！



### 不採択...



絶対の自信を持ってフナテックが臨んだ「ものづくり補助金」二次公募は去った10月下旬に結果が公表され、見事に今回も「不採択」となった。不採択となったあまりの悔しさから富名腰は、不採択の原因をネットで検索、すると事業計画書を審査した審査員の初見を沖縄県中小企業団体の中央会で確認できることが判明！富名腰は即那覇市とまりん1階にある中央会へと足を運んだ。

### フナテックが申請した「ものづくり補助金二次公募」審査員初見ご紹介

【技術面】  
・3D計測及び表示の普及に貢献するサービスであり、顧客側がイメージしやすい。十分優位性が見込める。  
・治具の工夫で小ロット化と生産性向上が見込める。  
・県内で唯一となる3D計測から各種ソフトを利用した3Dモデル化までの一連の流れを提供できる環境づくりは良いし、革新性では評価できるだけに書類不備は残念。  
【事業化面】  
・これまでの補助金実績がなく、3D計測及びイメージによって、イメージしやすくなり市場ニーズへの寄与は十分高いと期待できる。共同申請用の様式を利用して書類不備。  
・市場の伸びしろもあり期待できる。

- ① 提出書類はしっかりと確認しよう！
- ② 審査結果後に審査員の初見を確認することができ（前回不採択時に分かっていたらば・・・）
- ③ 一時公募よりも二次公募

今回学んだ点は、  
① 提出書類はしっかりと確認しよう！  
② 審査結果後に審査員の初見を確認することができ（前回不採択時に分かっていたらば・・・）  
③ 一時公募よりも二次公募

④ 審査員は4人である  
⑤ 補助金の公募要領とおり事業計画書を作成すれば審査員はその各種事項が記載されているかの確認を重視しているように見られる為、事業計画書の内容よりも公募要領とおり事業計画書を作成する事が重要である。という5点を今回学んだ。富名腰は今回学んだ事を生かして、次回の補助金申請では必ず採択されるよう、その経験で学んだ事を「ザンザン」等々で発信していきたい。補助金を国から頂いて、ユーザー様へ貢献したいと新たな目標に向かって気合いを入れなおした。

発行年月日  
2018年12月17日  
第2号  
発行人  
富名腰一真



編集者よりひとこと

昭和51年12月6日生  
いて座 O型  
キャビキャビの42歳  
基本的に短足  
（長ズボンの裾は短さを求める割には、太ももが太すぎてお店ではなかなか見つからない男）



フナテック仲間入り  
まずは3D撮影スタート

十月よりフナテックに新たなスタッフが加わった。名前は一乃介（いちのすけ）落語家一之輔師匠の息子ではなく、富名腰家長男。大学生の為、週一、二のアルバイトという形で採用。現代っ子らしくコンピュータに関する事の呑み込みはかなり早い。沖縄国際大学の産業情報学部企業システム学科を専攻しており、マーケティングコースで修行中。沖縄フアマミ主催で毎年開催される学生選権のように新商品の企画・開発・販売促進を体験させる上でもフナテックが新たに取組んでいる3D撮影サービス事業担当はお互いにとつてうつつと考える。





